



市指定文化財

真念寺の梵鐘 ぼんしょう

草生小学校の南東、安濃町安部集落の一角にある真念寺に、天正8（1580）年の銘のある梵鐘があります。

梵鐘は、高さ138cm、口径76cm、下帯には菊花や唐草、阿吽の獅子、牡丹などの文様が鑄込まれ、正面の撞座の上には「天下泰平 日月清朗 四海安穩 國土豊饒」、裏面には「天正八辰年十一月吉晨 高野教禪坊」の銘があります。

鐘に製作者の名は記されていませんが、銘文に「高野教禪坊」とあることから、もとは高野山（和歌山県）にあったことが分かります。

明治25（1892）年にこの寺の所有となり、昭和17年に行われた県内の梵鐘調査で、この鐘の意匠や天正8年の鑄造であることが高く評価されて、戦時中の兵器製造のための金属類特別回収を免れました。その後、平成10年には文化財として指定を受け、今も除夜の鐘として、経ヶ峰の麓にその音を響かせています。

（「広報津」平成22年9月1日号）

